

「たゆまず祈りなさい」

「たゆまず祈りなさい。感謝のうちに、目を覚まして祈りなさい。」
(コロサイの信徒への手紙 第４章２節・新約聖書３６４頁)

はじめに

パウロはコロサイ教会の信徒に「キリストを土台として生きよ」と書き送りました。信徒だけではなく、人間が揺るがぬ土台、キリストの上に人生を築き上げていくことにより、はじめて充実した人生、平安と祝福を手に入れることができます。すでに信徒であるならば、さらにすばらしい真理を知ることができるのです。

祈りとは

パウロはこの手紙のまとめのようにして「たゆまず祈りなさい」と勧めています。揺るがぬ土台をさらに強固なものとするために重視していたのが祈りです。祈りとは神に心を向けることであり、言葉や賛美はその方法です。「キリストと共に生きる」者であることは、キリストを通してもたらされる神との結びつきが重要です。ですから、たゆまず祈るのは、より深い神との結びつきを求めて行く姿勢だと言えます。

次に「あらゆる霊的な知恵と洞察によって神の御心を深く知り」(1:9) とあるように、神に心を向ける時、神は私たちに御心を悟らせてくださいます。それは御言葉によってもたらされることが多いのですが、日ごとの祈りの中で賛美を献げたり、証しを聞くことでもたらされていくのです。自分の考え方が正しいと思っていると自己中心に陥りますが、神の御心に生きるなら、その歩みは祝福されていきます。

そしてパウロは、宣教が進むために必要な使命であることも説いています。

「キリストの秘義を語ることができるように」(4:3) とは、自分の証しが用いられ、また御言葉に仕える働き人が上からの力をいただいて奉仕できるように、たゆまず祈るのです。この時、パウロはローマで軟禁状態にありましたが、そこから出られるようにとは要請していません。あくまでもその状況でも福音が開かれていくようにと言っているのです。

たゆまずとは

「たゆまず」との語は継続して取り組む、熱心にそれに専念する集中するとの意味がありますが、興味深いことに、キリストを信じる群れ、教会が始まったその時彼らは「ひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた」(使徒 2:42)、その「ひたすら」が同じ語であることに注目すべきです。漢字では「只管」(集中する) と書きます。集中する、これによって初代教会は爆発的な成長を遂げました。たゆまず祈ることがキリストを深く知り、御心に従い、同時に宣教が勧められていく、その原動力になっているのです。

感謝のうち

「感謝のうちに、目を覚まして祈る」。この世の力は私たちから霊力、つまり信仰心や神とつながろうとする力を奪っていきます。だからこそ、つねに神の恵みを心にとどめ、自分の信仰心を失うことのないように、目を覚まし、たゆまず祈っていかなければならないのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のＱＲコードを読み取ってアクセスしてください。

今週の祈り

「たゆまず祈りなさい。感謝のうちに、目を覚まして祈りなさい。同時に、私たちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、私たちがキリストの秘義を語ることができますように。私は、このために牢につながれているのです。また、私が語るべきしかたで語って、この秘義を明らかにすることができるように祈ってください。」(コロサイの信徒への手紙 4:2 ～ 4)



「一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。」(使徒言行録 2:42)

パウロは、信仰の土台、また人生の土台はキリストであると明確に教えました。私は主キリストをさらに深く知るために、神との交わりをし、また神の御心を知るために御言葉に聞き、そして救い主キリストの証しをしていきます。す。たゆまずとありますから、それに集中し、そして熱心になすことができるようにしていきます。どうぞお助けください。揺るがない土台を得た私の人生をより祝福してくださることをお願いいたします。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言（128）
第6章19節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。
◎協会共同訳 「虚偽を語る偽りの証人　兄弟の間に争いを引き起こす者。」
◎口語訳 「偽りをのべる証人、また兄弟のうちに争いをおこす人がこれである。」
◎新改訳 「まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いをひき起こす者。」

「偽りの証人」

主の憎むものの６番目は「偽りの証人」、７番目は「兄弟間でのトラブル」です。両者とも裁判の場面が背景にあります。

記録する手段が乏しい当時、真偽を判断する場合には証人の証言が非常に重要でした。見ていないのに「見た」といってその人を陥れることは簡単でした。ですから十戒の「隣人に対して偽証してはならない」（出 20:16）は非常に重要な戒めだったのです。

「虚偽を語る偽りの証人」が「兄弟の間に争いを引き起こす者」と関係するように並べられています。この流れから解釈すると、この「兄弟」はイスラエルの共同体が意識されていると思われます。つまり、どういう事情であっても虚偽を語って仲間を陥れた事実によって、「こいつはそういうことができるやつなんだ」というレッテルが貼られてしまいます。当然ながら、ほかの仲間との信頼は崩れていくでしょう。そして、そのことをきっかけに彼は仲間に入れなくなってしまい、へたをするとその組織から離れなくてはならなくなるわけです。虚偽が思わぬ分断を生じさせるのだとの教えです。

「争いを引き起こす者」が７つ目に来ているのは、それまでの行為が人間関係を崩壊させることになり、最後は社会から受け入れられなくなるからでしょう。一つ一つは個人的な行動であるように思えるけれど、最終的には社会悪として裁かれる時を迎えることになるのです。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

1 父から子へ・受け継がれるべき知恵（1:1 ～ 9:18）
2 生活の処方箋・知っておくべき知恵（10:1 ～ 22:16）
3 先人からの知恵（22:17 ～ 31:31）
　a 知恵ある人の言葉（22:17 ～ 24:34）
　b ソロモンの言葉（25:1 ～ 29:27）
　c アグルの言葉（30:1 ～ 33）
　d レムエルの言葉（31:1 ～ 31）

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも 15 分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方 (例)】

①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。

②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。

③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。

④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会が祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

箴言第23章2節「食欲旺盛であるなら 喉にナイフを当てておけ。」◆強制ダイエットの話ではない。ここでは治める者、つまり権力者が自分の仲間に引き入れたい時に行う接待の場面が再現されている。食にこだわりがある人は、自分の食べたいと思うメニューを出されたら、断り切れないだろう。しかし、その食事を食べたあと、頼まれごとをされたらどうだろう。おそらく、多くの人たちは「いやです」とは言えない。「いやだ」と言えるくらいの気持ちでごちそうを食べろよという教えだが、そもそもその場に誘い込まれなければいいのだ。

●賛美／ 337 ●祈祷課題
◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

箴言第24章11節「死に捕らえられた人を助け出せ。殺戮を前におびえる人への助けを惜しむなら」◆死に捕らえられるとは、無実の罪をきせられて殺されようとする者を指す。「捕らえられる」とか「おびえる」との言葉に込められているのは、神の側から離れ、罪の世界に誘い込まれて落ちていく人々を救わなければならないのだとの神のご意志である。私たちは信仰をもっていない人々に対する見方をあらためなければならない。それらすべての人々が鎖につながれ、刑場に引っ張られているとするならば、私たちは何をすべきなのかわかるはずだ。

●賛美／ 338 ●祈祷課題
◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、ＥＨＣ、ケズィック、太平洋放送協会、ＦＥＢＣ、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド･ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会 (聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆ 宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

箴言第25章1節「これらもまた、ソロモンの箴言である。ユダの王ヒゼキヤの下にある人々が筆写したもの。」◆ソロモンからヒゼキヤまでは約250年。この間も、ソロモンの知恵の言葉はユダの人々を生かしてきた。おそらくヒゼキヤ、そしてイザヤはアッシリアが攻めてくるように緊張感の中、信仰に即した生活が必要不可欠だと思ったのだろう。民たちに浸透させるべく、この箴言を民たちの読み聞かせていたのだろう。古くても、真実ならば、どの時代であっても人を動かすことができる。私たちもこの聖書を頼りに生きていこう。

●賛美／ 339 ●祈祷課題
◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

箴言第26章5節「愚かな者にはその無知に合わせて受け答えせよ。その人が自分を知恵ある者と思い込まないために。」◆4節では「愚か者にその愚かさに従って答えるな」とあり、一見矛盾しているような箴言だが、4節は、神を信じていない人と会話をする時、それに相づちを打ちながら同調していたら、相手のペースになってしまうから気をつけるようにと教え、5節では神を信じない人には、神を信じなかったらだめだと思わせるような、知恵のある言葉で返答するようにとの意味である。会話するにも知恵がいる。

●賛美／340 ●祈祷課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

箴言第27章1節「明日のことを誇ってはならない 一日のうちに何が起こるか知らないのだから。」◆夏休み、私の生家に帰省した時のこと。一緒におやつを食べていたいとこが、急に叔父さんと出かけることになり、私に「これとっておいてね」と言って出て行った。ところが、単独だったが事故を起こし、大けがをしてしまい、おやつどころではなくなった。私たちの明日はだれが与えられるのか。神である。だから、主イエスは「明日のことを思い煩うな」と語られたのだ。明日はわからない。だが知っておられる主に委ねれば安心ではないか。

●賛美／341 ●祈祷課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

箴言第28章9節「耳を背けて教えを聞こうとしない者は その祈りさえもいとわれる。」◆私たちは神との会話に生きるべきだ。神と豊かな交わりをすることで、心が恵みであふれてくる。ところが、交わりが成立しない場合がある。それは私たちが神の言葉を聞こうとしない時だ。だれでもいいが、楽しいおしゃべりと、苦痛な会話がある。前者は互いにその言葉を受け、そして答えながら過ごす。後者はたとえば聞こうとしていない人に一方的に語る場合などである。しゃべりっぱなしで御言葉を聞こうとしないなら、恵まれるわけがない。

●賛美／342 ●祈祷課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

箴言第29章18節「幻がなければ民はちりぢりになる。教えを守る者は幸いである。」◆「預言」は言葉、「幻」は映像といったらいいだろうか。自分たちの夢を描くように、「神から与えられた目標が浮かび上がってくる」。それが幻、ビジョンだ。神は私たちに様々な約束を与え、私たちの心に「幻」を見せてくださる。もしこの目標がなかったら、教会もみんな違う方向を見て、ばらばらになってしまう。また、こんなことはできるはずがないと否定したらおしまいだ。もう一度、私のビジョン、教会の目標を確認し、そこに心を合わせようではないか。

●賛美／343 ●祈祷課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。

おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【れつおうき げ　23:1～28】

「ヨシヤおう」

（れつおうき げ　２３：３）

ヨシヤは ８さいのときに ユダおうこくの おうさまになりました。でも、ちいさいからといって、なにもしなかったのではありません。ヨシヤは かたく かみさまをしんじ、かみさまに したがうひとで、たちまち みんなから そんけいされる おうさまになっていきました。

あるとき、しんでんが こわれているところがあったので、けらいに なおすように めいれいしました。すると、こうじしている ばしょから、たいせつなたいせつな りっぽうのしょがみつかったのです。モーセが さずかった かみさまの おしえをかいた まきものです。

じつは、それまでの おうさまは かみさまをしんじないひとたちばかりでしたから、しんでんも こわれたままで だれも なおそうともせず、たいせつな かみさまの おしえなど みむきも しませんでしたから、いつのまにか、しんでんの おくに いろいろな にもつといっしょに すてるようにして おかれていたのでした。

ヨシヤは はじめて このりっぽうが あることをしり、そしさっそく、みんなといっしょによみました。すると、いまのくにのなかに かみさまから「してはならない」といわれているものがたくさんあることがわかりました。

ヨシヤがすばらしいのは、すぐに わるいことを やめる けつだんをすることができたことです。

とくに かみさまが おきらいになる ぐうぞう、そのぐうぞうにかかわるたてもの すべてを こなごなに こわし、それをごみすてばに あつめて すてて もやしました。ぐうぞうに つかえていた ひとたちも みんな おいだしました。ヨシヤは「ヨシヤのまえにも、あとにも このように こころをつくし、たましいをつくし、ちからをつくして かみさまにしたがった おうはいない」といわれるようになりました。

わたしたちも、かみさまをしんじ、したがって いきましょう。

●かんがえてみよう

☆ヨシヤは どのような おうさまでしたか。(22:2)

☆しんでんを しゅうりしたとき どのようなものが みつかったのですか。(22:8)

☆ヨシヤは どのようなことを ほめられていますか。(22:25)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

さいごをやはらう

や	ぐ		ら			き		
	を	う	や		い	ら	ぐ	さ
	い	は	さ			や	を	う
は	や	ぐ	う	き	さ			を
い		ら	を					き
を		き	ぐ	い	ら			は
	き				ぐ	を	さ	
ぐ	は			さ			い	
さ	ら	や	い	う	を			

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると 意味が通る言葉になります。答えてください。

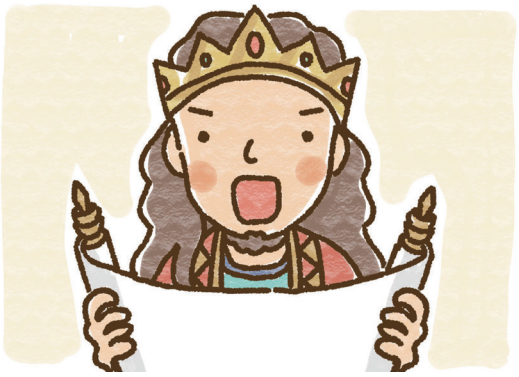
① ばすとべこての

② こうじっする

③ まらすきち

④ きたおりす

まちがいさがし　3つあるよ!さがしてね







牧師の 聖書 ななめ読み

「腹をくくる」

「道の駅」と聞いて、最初の頃はトイレ休憩する場所くらいの認識でしかありませんでしたが、利用していくうちに地域振興の基地になっていることがわかってきました。ただ､何カ所かの「道の駅」を知っていますが、いつ行っても混んでいるところもあれば、そうでないところもあります。それぞれに運営母体があって、その経営手腕で大きな差が出てくるとのこと。例えば群馬県には「一日遊べる道の駅」という触れ込みで、新鮮な乳製品や地元の食材を使った料理が食べられるテーマパークのような場所もあるらしいです。

先日新聞に「道の駅」で地域活性化に成功した人が紹介されていました。道の駅立ち上げの担当になってしまった役場職員のその人は､「まあ、とにかく成功している道の駅を見学に行こう」と、何かの人たちと高知県の四万十町に向かいます。見学を終えたその晩、その経営者と話しているうちに「やってくれる人もいないし」と弱音をはいたら、その途端に「誰がやるんじゃ！おまんが 腹をくくれ」と怒鳴られ､おもわず「役所をやめて 私がやります」と言ってしまった。その言葉通りに腹をくくり、道の駅にかけ、成功に導いたというものです。どんなことでも「腹をくくる」ことです。

聖書ふれあい街歩き

●エイラト　2

「エイラトとエツヨン・ゲベルを離れた」（申命記 2:8)､「ソロモン王は、エツヨン・ゲベルで船団を編成した。そこはエドムの地にある葦の海の岸辺エイラトの近くにあった」(列王上 9:26)とあるのに、なぜ､「同じ場所」と考える説があるのでしょう。

実は古代の地名は、その時代、また支配者がうつることによって呼称が変わることがあるのです。これが混乱の元になります。この二つも同じ場所だったとか、同じ港湾地域の中の別の施設や集落だったなど、いくつかの説があり、現在も断定されていません。私がガイドをしていた柿内師から聞いたのは、エイラトはイスラエルからの呼び名、エツヨン・ゲベルはエジプト側の立場で呼ぶ名称というものですが、それもどうなのか、はっきりしません。

この町はソロモンの時代に脚光を浴びるのですが、読んでみるとエイラトの近くにあるエツヨン・ゲベルで船団を編成しており、軍や貿易に従事する基地があったのではないかと想像できます。エツヨン・ゲベルは「勇士の背骨」との意味があるようで、エイラトは「大きな木」です。エイラトが地域名で、エツヨン・ゲベルが港の呼称のような気もします。

なめも聖書 先週のこたえ

る	と	だ	い	た	こ	を	し	す
た	す	こ	を	と	し	だ	い	る
し	を	い	る	だ	す	と	こ	た
こ	し	た	と	を	だ	す	る	い
と	い	る	す	し	た	こ	だ	を
す	だ	を	こ	い	る	た	と	し
い	る	と	た	こ	を	し	す	だ
だ	た	す	し	る	と	い	を	こ
を	こ	し	だ	す	い	る	た	と

①ねふしゅたん

②あしぇらぞう

③せきちゅう

④てきなし





伝道者パウロの生涯　１６８

＊本文を開きながら見ましょう。

ローマに向かうパウロ

数日たって、アグリッパ王とベルニケが、フェストゥスに挨拶するためにカイサリアに来た。

彼らが幾日もそこに滞在していたので、フェストゥスはパウロの件を王に持ち出して言った。「ここに、フェリクスが囚人として残していった男がいます。

(使徒言行録25:13～14)



フェストゥスとアグリッパの前で

【アグリッパ王】

ローマから新任の総督が来たので、ユダヤの王、アグリッパとベルニケがカイサリアに来ました。フェストゥスへの表敬訪問です。

ここに登場するアグリッパとはヘロデ・アグリッパ2世、つまりヘロデ家出身で、ローマ帝国から王としての地位を認められていた人物です。終戦後、マッカーサー率いる連合国軍に統治されていたときの天皇に似ています。「王」と呼ばれていても、実際にはユダヤを治めているわけではなく、ローマに従属することで、領地とその地位が与えられていただけなのですが、「王」としてユダヤに残れたので、それでよしとしていたのです。ローマはローマで、「ユダヤ王」は大祭司の任命やユダヤの宗教行事に関する大きな権限を持っていたので、ユダヤ人民の反抗心を和らげるために利用していました。昭和天皇を戦争犯罪人として断罪せず、その地位を認めたのも、日本の治安を維持するためだったとされています。

さて、アグリッパの父親は、使徒言行録12章に出てくるヘロデ・アグリッパ1世、「蛆に食われて息絶えた」(23:23)人物です。

ヘロデ大王は祖父になります。このヘロデ大王はユダヤ人ではなくイドマヤ人、つまり旧約聖書の時代からユダ王国と常に敵対関係にあったエドム出身です。そのヘロデがローマ皇帝アウグストゥスの支援を受け、ユダヤがローマに敗れて属州となったときに混乱に乗じてユダヤ王となるのです。ユダヤの民たちが反発してもすでに遅く、ヘロデ大王は王としての地位を盤石にしていきました。

その息子ヘロデ･アグリッパ１世はローマ育ちで、カリギュラ帝やクラウディウス帝とも結びつきが強く、ヘロデ家のユダヤ人の王としての地位は揺るぎないものとなります。

そのようなローマとの結びつきがあるので、アグリッパ２世も、ローマの庇護を受けて王の地位に留まろうしていたわけです。表敬訪問はそのためだったと言えます。

同行したベルニケのほうはというと、実は、彼女はアグリッパ2世の実の妹なのです。ここでも共に総督に会いに来ていますが、ユダヤ人社会ではかなり高い地位を持っていたと想像できます。この当時の女性の身分は低く、表には出てこないのですが、25章23節では町の有力者を率いるように歩いていることでも推測できます。

この二人、ヨセフスはじめ古代の歴史家たちが「非常に親密な関係にあった」と記しています。ただ、聖書では二人の関係について何も説明していませんので、実際のところはわかりません。北朝鮮の金正恩の妹、金与正みたいなイメージを持っておけばいいかもしれません。

【引き出される囚人パウロ】

表敬訪問は歓迎ですが、もしその人たちが「幾日もそこに滞在していた」ら、迎えた側に負担が生じてきます。フェストゥスも「こいつら、いつまでいるんだよ。挨拶したんだから早く帰ればいいじゃん」と思っていたはずです。とりあえず「王」ですから食事にも気を遣わなければならないし、うだうだ過ごさせるわけにもいきません。そこでフェストゥスはパウロを趣向のようにしてアグリッパたちの前に出すことを思いついた？のです。「おもしろい見世物がありますよ」という感じでしょうか。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。
　必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。
◆礼拝とは何ですか。
　私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。
◆献金とは何ですか。
　神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。
◆聖餐式とは何ですか。
　信仰告白をし、洗礼 (バプテスマ) を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別されたパンとぶどう液をいただきます。
◆信者になるにはどうしたらいいですか。
　自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員 (信者) と呼ばれます。
◆キリスト教会は様々な教派があります。
　大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。
◆にせのキリスト教会がありますか。
　キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

２０２６年教会暦・年間行事

(＃はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら１年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

＊＊＊顕現節 (1/6 ～ #2/17) ＊＊＊

降誕日 (12/25) から 12 日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日 (1/6) から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日 (#2/15) として守ります。

＊＊＊四旬節 (#2/18 ～ #3/28) ＊＊＊

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式 (この教会では行いません)、灰の水曜日 (#2/18) から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの 40 日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週 (#3/29 ～ 4/4) は、主イエスの最後の１週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日 (#3/29) から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日 (#4/2)、十字架にかかられた受苦日 (#4/3) と過ごしていきます。

＊＊＊復活節 (#4/5 ～ #5/23) ＊＊＊

キリストが死にかって復活されたことを祝うイースター (復活日・#4/5) から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40 日後のキリストの昇天 (#5/14) を迎えたのち、復活節の最終主日 (昇天主日 #5/17) となります。

＊＊＊聖霊降臨節 (#5/24 ～ #11/28) ＊＊＊

復活日から 50 日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日 (ペンテコステ・#5/24) から始まり、三位一体主日 (#5/31) では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

＊＊＊待降節 (#11/29 ～ 12/24) ＊＊＊

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント (待降節) は、11 月 30 日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは 12 月 25 日ですが、クリスマス礼拝 (#12/20) は、25 日以前の日曜日を選んでささげています。

＊＊＊降誕節 (12/25 ～ 1/5) ＊＊＊

イエス・キリストの誕生を祝う日 (12/25) から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】
母の日 (5/10・5 月第二)
ウェスレー回心記念日 (5/24・1738 年)
花の日 (子どもの日・6/14・6 月第二)
父の日 (6/21・6 月第三)
ホーリネス弾圧記念日 (6/26・1942 年)
宗教改革記念日 (10/31・1517 年)
収穫感謝日 (11/22・11 月第四)

【当教会行事】
新年元旦礼拝 (1 月 1 日・木)
成人祝福礼拝 (#1/11・1 月第二)
聖書愛読週間 (#3/22 ～ 28)
みふみの日 (3 月 23 日)
教会創立記念礼拝 (3 月最終主日 / 創立記念日 3/29)
最後の晩餐集会 (#4 月 2 日夕)
召天者記念合同礼拝 (#6/14・6 月第二)
弾圧記念礼拝 (#6 月 28 日・26 日前後の主日)
石出忠師記念礼拝 (#7 月 5 日・7 月第一)
敬老祝福礼拝 (#9/13・9 月第三)
子ども祝福礼拝 (#11/1・１１月第一)
クリスマスイブ礼拝 (12 月 24 日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト (青山学院、東北学院など) の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が１９０１年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。２０２２年3月２７日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書６６巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A．B．シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒 (しんゆ)、再臨 (さいりん) の４項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆新生　キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わること。これにより、天に住まう者のように、日々に喜びが与えられる。（コリントの信徒への手紙二 5:17 など）

◆聖化　神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。（ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ～ 20 など）

◆神癒 (しんゆ)　肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。（出エジプト記 15:26 など）

◆再臨 (栄化)　キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。（コリントの信徒への手紙一 15:51 など）

教会の信条

相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約３年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかられ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

①キリストによる完全な救い
②真心からささげる礼拝
③キリストをかしらとした教会の交わり
④神の憐れみによるいやしと慰め
⑤信仰生活がもたらす祝福
⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会　創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦　牧師 石出 佳代子　牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3
TEL&FAX 042(772)8910　e-mail church@bethels.info

ホームページ　http://www.bethels.info/